



アクティビティ

1

生き物みつけた

【ねらい】

- 川の中の生き物みつけをとおして、川にはいろいろな生き物がすんでいることに気づかせる。
- きれいな川やそこにすむ生き物を大切にしようという気持ちを育む。

【実施の条件】

- | | |
|----------------------|--------------|
| ●対 象／ 保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時 間 帯／ 昼間 |
| ●人 数／ 10人程度 | ●場 所／ 上流～中流 |
| ●季 節／ 春～秋 | ●所要時間／ 90分程度 |

【準備するもの】

発見カード、ぞうり、あみ、バケツ、簡易水槽、ペットボトル（上部を切ったもの）、着替え

【すすめ方】

川べりや川底の石の裏などを探ることにより、いろいろな生き物を見つけよう。

① 川の中で生き物みつけをしよう。

- 魚をみつけたよ。カニやエビもいるぞ。
- 川底の石のうらに小さな虫がたくさんいるよ。

② 見つけた生き物のシールをカードにはり、見つけたものをみんなに紹介しよう。

- ぼくはハヤをたくさんつかまえたよ。
- 私はカゲロウの幼虫をみつけたよ。
- 川岸やきれいな水の中にはたくさんの生き物がすんでいるんだな。

〈注意事項〉 「生き物シール」は事前に現地調査を行い、代表的な生き物のシール＜イラスト・写真等＞用紙として作成しておく。

〈バリエーション〉 用水路などでは、ザリガニ、イモリ、オタマジャクシ等の観察、中流では「もんどり」を使って魚とりを中心にした活動も考えられる。

公園や学校にあるビオトープにおいて、生き物を見つける活動も可能である。

（宇部市の里山ビオトープ二俣瀬等）

生き物シールを利用し、ビンゴゲームも可能である。

いもの 生き物みつけた

【いもの
生き物はっけんカード】

- ① かわのなかでいもの生き物みつけをしよう。
- ② みつけたいもの生き物のシールをカードにはり、
みつけたものをみんなにしょうかいしよう。

【生き物シール】

★見つけた生き物のシールをはがして、「生き物はっけんカード」にはろう。
 いくつかの生き物を見つけられるかな。シールにないものがあったら、絵にかいてはろう。

 カイ	 ハヤ	 トビケラ
 ドンコ	 エビ	 ヤゴ
 フナ	 カエル	 ドジョウ
 ミズクサ	 アメンボ	 イモリ

メダカを探そう！

1. メダカの特徴を知ろう。

小さな魚は全部メダカだと思っていないかな。「しりびれ」を見れば、メダカはすぐわかるよ。オスとメスは、「せびれ」の形がちがうんだ。

2. よくにた「カダヤシ」に注意しよう。

カダヤシは、アメリカから来たグッピーのなかまだ。メダカの子どもは卵で生まれるけど、カダヤシはお母さんのおなかで育つんだ。やはり「しりびれ」を見ると、メダカと区別できるよ。

3. メダカのすむ環境を知ろう。

メダカは泳ぐ力が弱いので、水の流れが速い所にはすめない。どんどん流されて、海のすぐそばにいたことだってある。でも、体が小さいからすむ所はいくらでもあるんだ。よく探してね。

4. メダカのすむ所を記録しよう。

メダカが減ったとよく言われるけど、本当だろうか。身近な場所を調べて、メダカ・マップを作ろう。

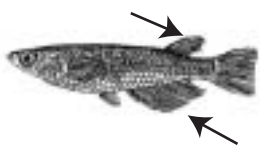
注 意！

1. メダカをつまんだり、さわったりしたらだめ。すぐ弱るよ。
2. 水に入る時は、長くつなどはこうね。
3. 「立ち入り禁止場所」など、危険な所へは行かないようにしよう。
4. 大雨の後には水が多くなるし、流れも速くなる。注意しよう。
5. 田の「あぜ」などをこわさないようにね。
6. すくった水草は、水の中へもどしてあげよう。

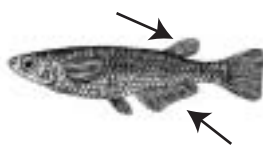
お願い

1. むやみに家に連れて帰らないでね。
2. ちがう場所に放さないでね。

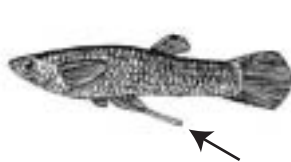
メダカ（オス）



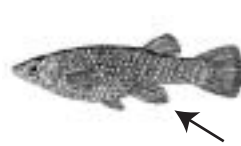
メダカ（メス）



カダヤシ（オス）



カダヤシ（メス）



【くわしく^し知りたい^{ひと}人のための^い生き物^{もの}カード】

ぎょるい 魚類



アブラボテ



アユ



アマゴ



ムギツク



イトモロコ



ウナギ



トウヨシノボリ



ドンコ



オイカワ



オヤニラミ



カワムツ



ニゴイ



ハゲギギ



コイ

【くわしく^し知りたい人^{ひと}のための^い生き物^{もの}カード】

ぎょるい 魚類



シマドジョウ



ホンモロコ



カマツカ



ギンブナ



タカハヤ

すいせいせいぶつ こんちゅう 水生生物 (昆虫)



ミズカマキリ



トビケラ



ヤゴ



ヘビトンボ



ヒラタカゲロウ



タイコウチ



アメンボ



ミズスマシ

【くわしく^し知りたい^{ひと}人のための^い生き物^{もの}カード】

りょうせい^い 両生類



トノサマガエル



ツチガエル



イモリ

かい^い 貝類



イシガイ



シジミ



カワニナ

こうかく^い 甲殻類



ヌマエビ



スジエビ

【くわしく^し知りたい^{ひと}人のための^い生き物^{もの}カード】

こうかくるい
甲殻類



アメリカザリガニ

しょくぶつ
植物



カナダモ

岩国石人形の由来



素朴な民芸品として知られる石人形は、自然の造りだしたもので、錦帯橋の下の川の中の石についています。いつのころか、この石人形が錦帯橋の人柱（大工事の成功を祈って人を生きたまま犠牲にする）となった乙女の生れ変わりという話が広がりしました。人柱が、橋や城や家を守るといわれていることから、御守りとして利用されるようになり、形も似ていることから七福神やお地蔵さま、仏像などに見立てられ、事故や災害、厄除などの御守りとしても信仰されています。

いつしか、近くの人達が石人形を採集するようになり、郷土玩具としても知られるようになりました。自然物が郷土玩具になった例としては、鹿児島県の鈴懸け馬、北海道の十勝ダルマがあり、この石人形を加えて日本三大珍品玩具といわれています。岩国藩主、吉川公も、諸大名に献上したと伝えられています。

江戸時代末期から明治にかけて、多数の詩歌にも詠まれ、特に南方一枝の漢詩は広く世に謳われました。大正七年には、俳句の集団「石人形社」も結成され俳誌「石人形」が発行されています。

このように、石人形は様々な形で人々に愛され、親しまれ、三百年以上も受け継がれてきたもので、岩国人の人情や心の現れといわれます。この石人形をとおして昔の人達の素朴な信仰心、文化や風土などを感じ取ることができます。

本当は、この石人形は、「ニンギョウトビケラ」という昆虫が、川底の小石や砂を集めて造る筒の形をした巣であることが分かっています。川の中の石に付く性質を持つために、錦帯橋の石垣や敷石で採れるものです。



2 ザリガニ

【ねらい】

- 小さな川や用水路にいるザリガニを楽しくつることができるようにする。
- 川にすむ生き物と親しむことができるようにする。

【実施の条件】

- | | |
|--------------------|-------------|
| ●対象／保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時間帯／昼間 |
| ●人数／10人程度 | ●場所／用水路、田、池 |
| ●季節／春～秋 | ●所要時間／90分程度 |

【準備するもの】

簡易つりざお、するめ、いりこ、そうり、あみ、バケツ、水槽

【すすめ方】

用水路などで楽しくザリガニつりをしよう。

① ザリガニをさがそう。

- どんなところにすんでいるのかな。
- 小さな溝や用水路にいるよ。田んぼにもいるよ。
- 大きなザリガニをみつけたぞ。

② ザリガニつり大会をしよう。

- どんなものが好物なのかな。
- するめ、魚の肉、輪切りのジャガイモ等が好物だよ。そーっとエサを近づけてみよう。
- ハサミでエサをつかまえてるよ。
- つりあげることができたよ。

③ ザリガニを飼ってみよう。

- 水そうで飼ってみたいな。
- すなや石も入れておこう。
- 観察がすんだらもとの場所にもどしてあげよう。



〈バリエーション〉 ザリガニの飼育や観察が主体ならば、網でつかまえて、水槽に入れ、形態や動き等について観察する時間を十分確保するとよい。

ザリガニつり



- ① ザリガニをさがそう。
- ② ザリガニつり^{たいかい}大会をしよう。
- ③ ザリガニをかってみよう。

(ザリガニのエサ：するめ、^{きかな}魚の肉、^{にく}輪切りのジャガイモ、^{わぎ}ほうれんそうなど)



3

ミニ水族館をつくろう

【ねらい】

- 川にすむ生き物のミニ水族館をつくり、観察する活動をととして、その様子や生き物の生態を学ぶことができるようにする。
- きれいな川やそこにすむ生き物を大切にしようとする気持ちを育む。

【実施の条件】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ●対象／ 保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時 間 帯／ 昼間 |
| ●人 数／ 10人程度 | ●場 所／ 上流、教室、オープンスペース |
| ●季 節／ 春～秋 | ●所要時間／ 120分程度 |

【準備するもの】

ぞうり、あみ、バケツ、水槽、ペットボトル、着替え、図鑑、石、砂、飼育セット数組（小さな網、エアープンプ、フィルター、温度計等）生き物紹介カード、招待状、看板等

【すすめ方】

川にすむいろいろな生き物のミニ水族館をつくり、観察しよう。

① 川にすむ生き物をさがそう。

- たくさんの水生昆虫がいるよ。
- 水の中に魚がおよいでいるぞ。
- タニシをみつけたよ。

② 教室にミニ水族館をつくろう。

- 川底の砂や石ももってかえろう。
- 水や水草も少し入れておこう。
- 魚のコーナーや水生昆虫のコーナーをつくろう。

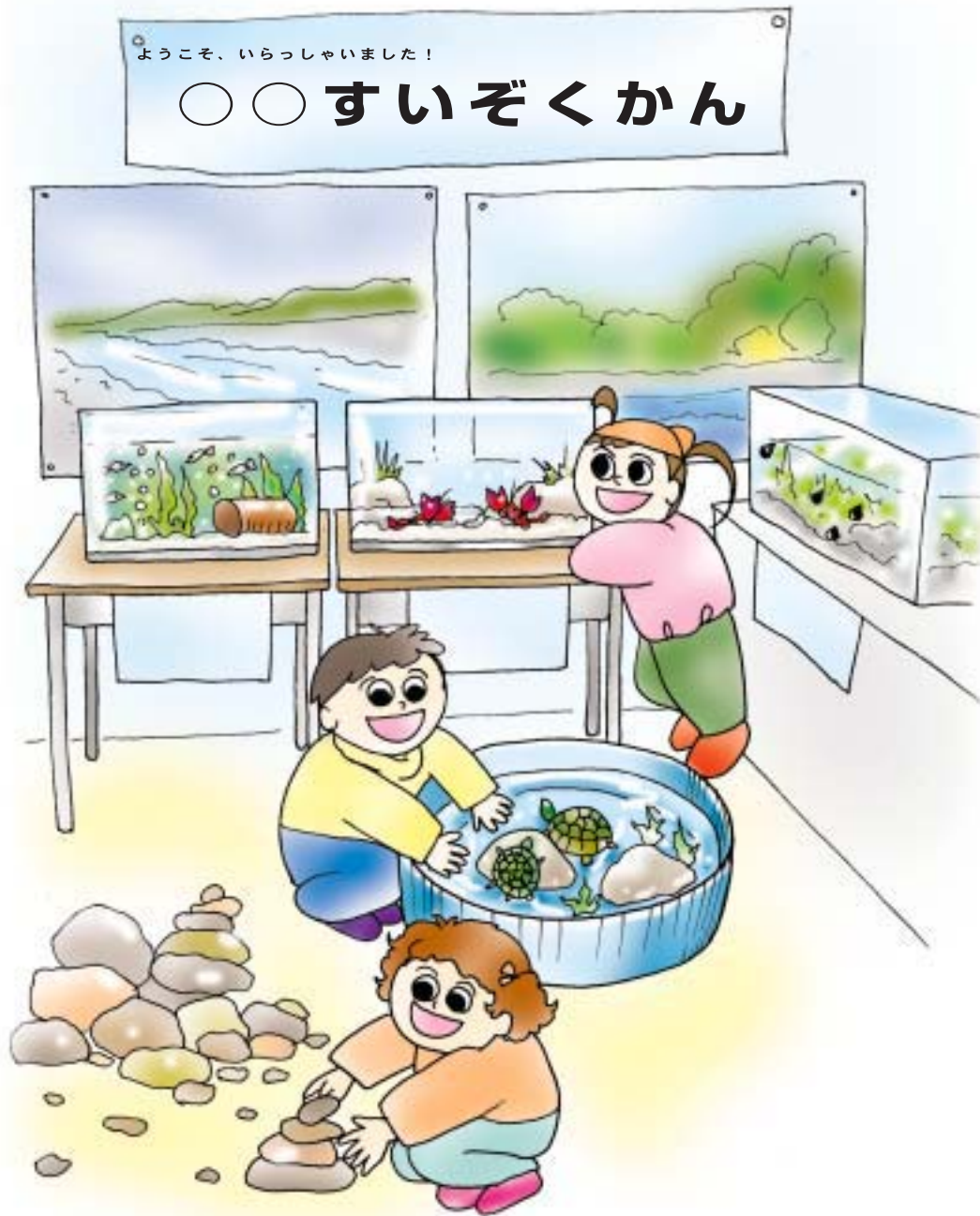


③ お父さんやお母さんを水族館に招待しよう。

- 招待状をつくろう。
- 水槽には生き物の名前のカードを付けておこう。
- 生き物の世話をきちんとするぞ。
- 観察が終わったらもとの川にかえしてあげよう。

〈バリエーション〉川原で石を組んでつくったプール等による短時間のミニ水族館づくりも可能である。

すいぞくかん ミニ水族館をつくろう



- ① ^{かわ}川に^いすむ^{もの}生き物をさがそう。
- ② ^{きょうしつ}教室にミニ^{すい}水ぞくかんをつくろう。
- ③ ^{とう}お父さんや^{かあ}お母さんを^{すい}水ぞくかんにしようたいしよう。

ミニ水族館作成資料

1 水族館の看板

ようこそ、いらっしゃいました！

〇〇 すいぞくかん

2 水族館への招待状

平成〇年〇月〇日

〇〇水ぞくかんしょうたいじょう

わたしたちのつくった「ミニ水族館」へどうぞおこしてください。

年 組 氏名（ ）の
お母さん、お父さん

3 生き物しょうかいカード（例）

・なまえ	メダカ
・みつけたばしょ	〇〇川のじょうりゅう
・すきなたべもの	メダカのえさ
・かいかた	
1 水草を入れておく。 2 水の中に空気をいつもおくる。 3 一日一回えさをあげる。 4 ときどきすいそうをそうじする。 5 たまごがうまれたら、べつにする。	
・川にかえしてあげる日	月 日

*飼育している水槽に付けておく。

4 いろいろな生き物の飼育方法については、多くの参考図書があるのでそれらを教室に準備し、園児・児童が主体的に利用することができるよう支援する。



アクティビティ
4

光のファンタジー

【ねらい】

- 清流のホタル見物をとおして、ホタルが美しく光る情景を楽しむ。
- 川にすむホタルを大切に守り育てる気持ちを育む。

【実施の条件】

- | | |
|---------------------|--------------|
| ●対象／ 保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時間帯／ 夜 |
| ●人数／ 10人程度 | ●場所／ 中流 |
| ●季節／ 夏 | ●所要時間／ 60分程度 |

【準備するもの】

帽子、長そでシャツ、長ズボン、懐中電灯、時計、虫さされの薬、長ぐつなど

【すすめ方】

ホタルが光る様子を見学し、ホタルがすんでいる川を見に行こう。

① 夜、ホタルが光りながら舞う様子を楽しもう。

- とってもきれいだな。
- 光ったり、消えたりするな。
- たくさんのホタルがいるぞ。
- 赤い懐中電灯やペンライトを点滅させて、ホタルを呼んでみよう。

② 一匹のホタルが光る様子を近くで観察しよう。

- ホタルのおしりの所が光っているよ。
- 虫が光るって不思議だな。
- 何匹いたら本が読めるかな。

③ ホタルが生きている川の様子を見に行こう。

- 水辺には土があり、たくさんの植物が生えている。カワニナもいたよ。
- 川岸や水の中にはたくさんの生き物がすんでいるんだな。
いつまでも大切にしたいな。



〈バリエーション〉 ホタル保護活動をしている団体も多いので、その様子などを見学に行くのもよい。
そこで、ホタルの生態や一生について学ぶことも可能である。

光のファンタジー



- ① ^{よる}夜、^{ひか}ホタルが光りながら^と飛ぶ^{ようす}様子を見^みに行^いこう。
- ② ^{いっぴき}一匹の^{ひか}ホタルが光^{ようす}る^{ちか}様子を^{かんさつ}近くで観^{かんさつ}察しよう。
- ③ ^いホタルが生^{かわ}きている^{ようす}川の^み様子を見^いに行こう。